

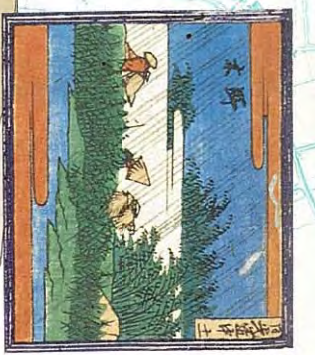
日光街道 歩く・楽しむ・発見する



歴史の小さな
日光街道と松並木
 日光街道の並木といえば日光の杉並木が有名ですが、日光街道中分間距離図や「増補行程記」などをみると田代から小山までは、松並木であったことがわかります。この並木は古河藩主の永井氏が元和・寛永初期(1615~44)に植えたとはいわれています。並木は強い日差しや風雨などから、旅人を守る重要な役割を果たしていました。



⑧ 左近入権神社 徳川将軍の日光参勤のとき、宿屋跡跡所(おやまひじお)と称されました。この辺りからは正面に筑波山が見え、廣瀬の地となっていました。



高瀬舟による舟運が盛んだった宿場 野木宿

今は江戸当時の面影はありませんが、野木には日光街道が下総から下野に入って初めての宿場がありました。野木宿は本野木町と新野木町の2町から構成され、本野木町には本陣と膳本陣が各1軒あり、旅籠は25軒、問屋場は本野木町と新野木町に各2ヶ所あったようです。また、近く流れる思川は、鉄道開通以前に水運として利用されました。野木には、野波が盛んに行われていました。

【主な行事 野木祭り】	
ささら獅子舞	熊野神社 4月第2土・日曜日
野波の地蔵	古くから伝承されている獅子舞です。この祭りの特色は、黄青と黒の2色が主で、子供で遊ぶことです。
提灯もみ	野木神社 12月3日
竹ざおの舟に参勤したって町内どこか屋敷を建て、日暮や乗りあひなどを食べたります。	

野木町のシンボル ひまわり
 ひまわりの大群衆が見られるのが、ここ野木町。7月、8月の季節になると、町内の至る所で文輪の花が咲き誇る光景に出会えます。



⑨ 野木宿本陣跡
 野木宿の本陣跡があり、その向かい側に膳本陣があったといわれています。現在は当時の面影は残りませんが、本陣跡に野木宿についての説明板が立っています。



⑩ 野木神社
 仁徳天皇の時代に建立されたといわれる神社です。境内には西蕉墳のほか、塙上田村麻呂が建てたといわれるイチョウ(町指定文化財)があり、その形状から母乳の出はる母親の信仰(乳房信仰)を窺っています。



渡良瀬遊水池
 ひだは3300ha、栃木・群馬・埼玉・茨城の4県にまたがる日本最大の遊水池です。治水時の治水や水資源水の供給だけでなく、広大なヨシ原や沼が自然に溢れ形で見られるため、多数の動植物が生息、生育しており、まさに「生きている自然の博物館」といった雰囲気となっています。4つの見学コースがあり、最寄駅はJR野木駅。板倉東洋大御前・藤岡陣とされています。

地域の皆さんといっしょに、まちづくりを進めます。
 栃木県内の日光街道沿線自治体では、街道の歴史の遺産などの発掘・保存や文化の継承・歴史や文化を生かしたまちづくり、まちづくりを進めています。400年という時を超え、未来への夢をつなげる日光街道。ここ栃木県でも、地域の大切な文化を地域の人々とあわせてつくりだす「まち・魅力あるまち」を創造していきます。

日光街道ルネッサンス21推進委員会
 栃木県商工会議所連合会・栃木県観光協会
 日光東照宮、下野新宮社、NHK宇都宮放送局
 日光市、今市町、宇都宮市、石橋町、上三川町
 南河内町、国分町、小山町、野木町
 国土交通省宇都宮国道事務所、栃木県

【お問い合わせ】
 国土交通省 関東地方整備局 宇都宮国道事務所 調査課
 7321-0931 宇都宮市平塚町504 TEL.028-638-2185
 栃木県土木部建設課
 〒320-8501 宇都宮市緑田1-1-20 TEL.028-623-2409
 小山町建設部都市計画課
 〒323-8686 小山町中央町1-1-1 TEL.0285-22-9204
 野木町建設課
 〒329-0196 下野賀懸野木町大字丸林571 TEL.0280-57-4111(代)

■間々田町から野木宿までのコースを案内しています。